

意識改革から始める デジタル・ガバメントへの挑戦！



令和元年10月10日 福島市長 木幡 浩

復興 そして新ステージへ



人口(推計 R1.8.1現在)	287,004人
面積	767.72km ²
名物等	花見山、果樹、温泉
トピックス	東京オリンピック・パラリンピック、朝ドラ「エール」



平成27年12月、全庁にタブレット型端末を導入したものの…
…単なるパソコン

平成29年12月～

ICTを利用する意識改革
ICTを活用した業務改革

ペーパーレス会議(庁議から実施、上からの改革)
一人一改善運動(現場からの改革、
職員一人ひとりの意識改革)
→ ペーパーレス大作戦(半年で7.3%削減)

マイナンバーカード「カンタン申請」



平成29年12月より開始

来庁する

職員が写真撮影

職員が申請手続きの補助

約1か月後、自宅で
カード受け取り！

約10分

短時間、写真不要、職員が目の前でサポートするので、市民の皆様から好評

マイナンバーカード「出張カンタン申請」



出張カンタン申請申込み



職員が事業所等へ出張



職員が写真撮影、
申請手続きの補助

約10分



約1か月後、
自宅でカード受け取り！

短時間、写真不要、仕事の合間に
市職員が出向いてきてくれるので、
市民の皆さまから好評

「マイナンバーカード利用の普及・拡大」

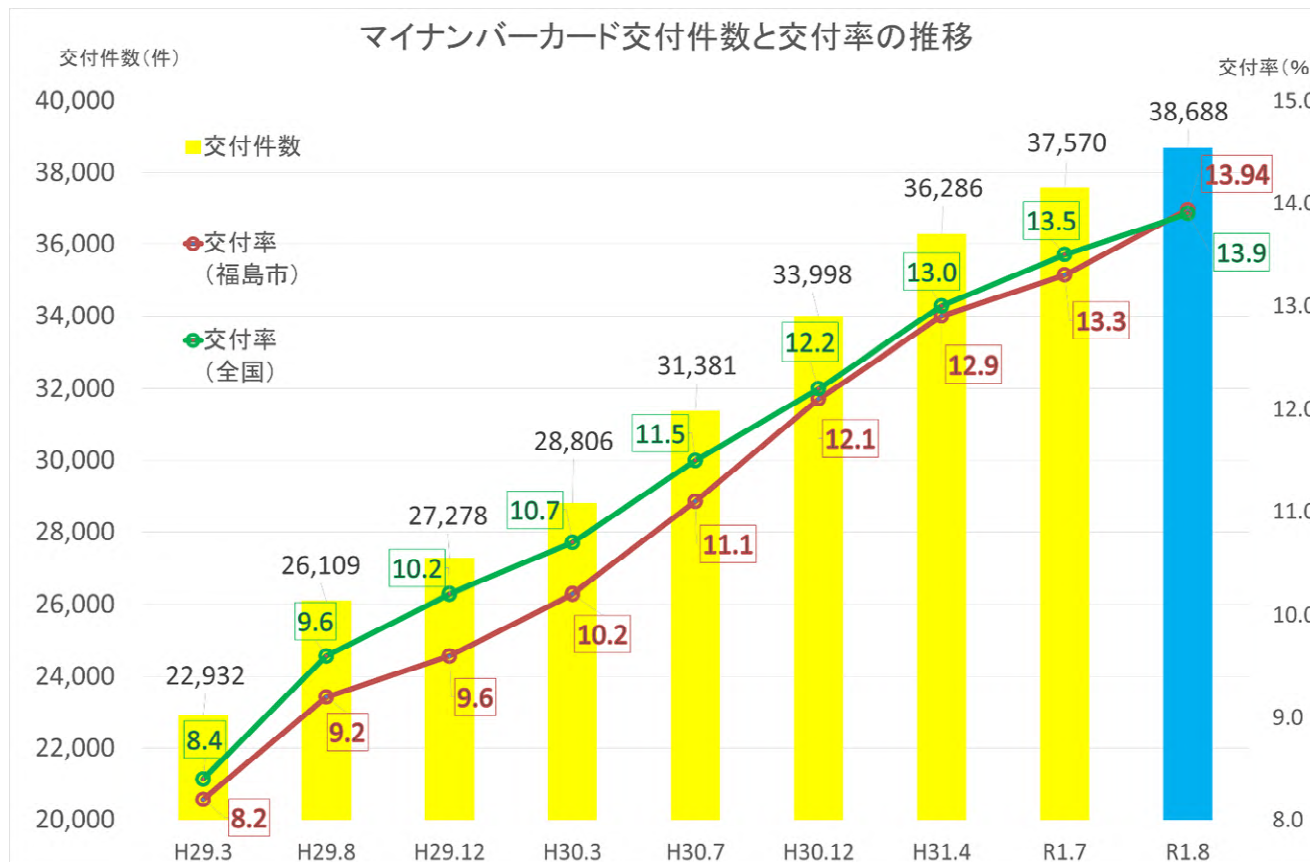


コンビニ交付の利用の仕方が分かりづらい、
端末の操作に不安があるとの声を受け、

地区ごとにコンビニの実機を使用し、
**コンビニ交付サービス利用講習
会を開催**

これにより、コンビニ交付の**利用拡充**と、
証明書発行業務の軽減による**業務改善**

マイナンバーカードの普及状況



マイナンバー取得
キャンペーンの効果により

伸び悩んでいた**交付率**
が上昇、
今年8月には、**交付率**が
全国平均を超える

直近1年間では、
申請の約半数が
カンタン申請

H29.12 カンタン申請、出張カンタン申請開始

今年度の目標 交付率16%
(R1.8.31現在13.94%)

「マイナンバーカード活用の検討」



マイナンバーカードの更なる普及には、マイナンバーカードを利用した新たなサービスが必要。

本年度「福島市スマートシティ勉強会」を開催



産・学・官(民間事業者・大学・福島市)でマイナンバーカードの利活用や、様々なICT活用を検討

< 新たに導入 >

1 AIを活用した保育所入所選考

AI導入と併せて、情報システムの更新を行い、事務全体を見直し

2 モバイルワーク

市長用務でモバイルワークを導入

3 議会(常任委員会等)でのタブレット持ち込み

委員会等に職員がタブレット端末を持ち込み、紙資料を削減

4 答弁検討のペーパーレス化

職員がシステムを開発し、質問取りから答弁検討までペーパーレス化を推進



< 実証実験の実施 >

1 RPA導入

2課3業務に導入し、その効果を検証

2 AIスピーカーによる施設案内

AIスピーカーの行政分野での活用可能性を検証